オペラ「椿姫」の舞台衣装デザイン・制作

一ヴィオレッタとフローラの衣装一

富田 弘美

八王子市学園都市文化ふれあい財団主催で、市民、学生、プロの音楽家とともにオペラ「椿姫」を制作するにあたり、衣装デザインの協力として主人公ヴィオレッタとその友人フローラの衣装デザイン・制作することを目的とし、各歌劇団の衣装デザイン傾向を参考にして役柄を表現するための材料、色彩、形態を設定して縫製を行い、次の結果を得た。

ヴィオレッタの衣装は、純真な心を持つ高級娼婦としてアイボリー色、ベルラインのシルエット、スカートに4段の金色のレースのフリルが付き、豪華でボリュームのあるドレスに仕上げた。フローラの衣装は、享楽的な高級娼婦としてオレンジ色の花柄のチュールレースで豪華で個性的な明るいイメージを表現した。これらの衣装は、2014年1月南大沢文化会館にて南大沢コミュニティオペラ「椿姫」の第1幕の舞台でソリストが着用した。

キーワード:オペラ 舞台衣装 椿姫

1. はじめに

オペラ『椿姫』は、1853年にジュゼッペ・ヴェルディが発表した作品である。日本では「椿姫」と呼ばれることが多いが、フランス語では「La Traviata」といい、直訳すると「道を踏み外した女」という意味になる。高級娼婦のヴィオレッタが一ヶ月に25日間を白い椿、残りは赤い椿を付けていたので、人々に「椿姫」と呼ばれたことから由来している¹¹。

八王子市学園都市文化ふれあい財団では、2014年1月19日に南大沢コミュニティオペラ ニューイヤーコンサート2014「椿姫」を南大沢文化会館主ホールにて開催した $^{2)}$ 3)。このオペラ制作は、文化庁より2012年6月に公布された『劇場、音楽堂等の活性化に関する法律』によって、文化芸術の鑑賞、活動の普及・支援として市民や学生が参加するワークショップを実施し、プロとアマ混合でコンサートを行い、オペラやクラシックの普及

を図るということで企画された⁴⁾。八王子市では 市民と衣装デザイン、舞台美術、ヘアメイクなど で近隣大学と共に制作するオペラは今回が初めて であり、衣装デザイン・制作に関する報告はみら れない。

オペラ「椿姫」の衣装は、ロングドレスやガウン、ネグリジェなど合計5点を制作したが、本報では、第1幕「乾杯の歌」の主人公である高級娼婦ヴィオレッタとその友人フローラのロングドレスの衣装およびヘッドドレスについて、演目内容、音楽監督、演技指導の意向やヘアメイクとの組み合わせなどを考慮してオペラ衣装のデザイン・制作にはじめて取り組み、その過程と結果について報告することとした。

衣装制作および衣装管理は、卒業制作の課題として取り組んだ4年生3名と制作を希望した1年生5名が参加し、ソリストの身体サイズに基づき、パターンメーキング、裁断、フィッティングを数回行いって本縫い、仕上げという工程で完成させた。また、オペラ公演ではゲネプロで衣装を確認

し、寸法や動きによる修正などを行った。

2. 方法

(1)『椿姫』のストーリーと時代背景

ディマ・フェス著の『椿姫』¹⁾⁵⁾、歌劇団の公 演DVD 6) 7) 8) 9) 10) 11) および実際に劇場にて公 演^{12) 13)} を鑑賞して内容と時代背景を把握した。

(2) 各国歌劇団のドレスデザインの傾向

日本およびヨーロッパの歌劇団より、特徴的な 衣装デザインの歌劇団を6件選び、第1幕のヴィ オレッタとフローラの衣装の各歌劇団のドレスの シルエットと色彩を比較検討した。

(3) 衣装デザイン・制作の手順

ヴィオレッタとフローラの衣装は、①デザイン コンセプト設定、②材料設定、③デザイン画作成、 (4)パターンメーキング、(5)フィッティング、(6)絳 製、⑦仕上げという手順でデザイン・制作した。

(4) ヘッドドレスのデザイン・制作の手順

ヴィオレッタとフローラのヘッドドレスは、① デザインコンセプト設定、②材料設定、③デザイ ン画作成、40各パーツ染色、50組立、60仕上げと いう手順でデザイン・制作した。

(5) 評価

公演時に客席から舞台を鑑賞し、デザイン・制 作について視覚による評価を行った。

3. 結果および考察

(1)『椿姫』のストーリーと時代背景

第1幕の場面では、ヴィオレッタとフローラの 他に市民の女性合唱団が約30名ほど登場した。合 唱団の衣装は各自が準備するために、厳密な時代 背景を設定することは難しかったので、ソリスト 2名のデザイン条件は、1990年代以降の現代の衣 装デザインと設定し、他の合唱団の衣装と違和感 がないように主役とソリストの役割や存在感を表 現した。

19世紀中頃のフランスでは貧富の差が広がり、 女性の収入は男性の半分ほどであった。主人公の ヴィオレッタはパリで花形の高級娼婦、すなわち 他の娼婦とは異なり、貴族のパトロンがついてい て、文化的にもレベルの高い女性であった。ヴィ オレッタはサロンのパーティーでアルフレッドに 出会って恋に落ち、本当の愛を知った彼女は改心 して娼婦をやめたが、世間は一度道を外した女を 許すことはなく、引き裂かれて孤独のまま短い生 涯を終えるという悲劇である1)。

(2) 各国歌劇団のドレスデザインの傾向

表1は、第1幕場面におけるヴィオレッタとフ ローラの各歌劇団A~Fのドレスのシルエットと 色彩を示している。

ヴィオレッタのシルエットと色彩は、歌劇団A、 B、C、Dでは、スカートが大きく膨らんだベル ラインシルエットでアイボリー色である。時代背

歌劇団(国・年)	ヴィオレッタ		フローラ	
	シルエット	色彩	シルエット	

表 1

歌劇団(国・年)	914699		7 - 7	
	シルエット	色彩	シルエット	色彩
A (ベルギー・2013 年)	ベルライン	アイボリー	ベルライン	青
B (イタリア・1992年)	ベルライン	アイボリー	ベルライン	水色
C (イタリア・2001年)	ベルライン	アイボリー	ベルライン	紫
D (イギリス・1994 年)	ベルライン	アイボリー	ベルライン	黄土色
E (日本・2005年)	フィット&フレア	黒、白	ナチュラルライン	シルバー
F (イタリア・2004 年)	ストレート	赤	ストレート	緑

歌劇団別シルエットと色彩

景は19世紀中頃で、古典的な演出内容により純真な心をもっているヴィオレッタをイメージしている。一方、E、Dはストレートまたはストレートに近い広がりのシルエットである。演出は現代的な内容で赤や黒を使い、快楽的な娼婦をイメージしている。

フローラの衣装では、ヴィオレッタと同様に古 典的な演出のシルエットはベルラインであり、現 代的な演出ではストレートであった。色彩は青、 水色、紫、黄土色、シルバー、緑と様々であった。

(3) ヴィオレッタの衣装

①デザインコンセプト

ヴィオレッタの名前は、スミレという意味を持ち、花言葉には「慎ましい幸福」、「誠実」などがある。図1のデザイン画のように、色は真実の愛に身も心も委ねたヴィオレッタの純真な心を表現するためにウエディングドレスにも用いるアイボリー色とし、シルエットは古典的な流れのある演出なのでベルラインにした。また、第1幕は合唱団が全員登場する場面なので、主人公としての存在感が引き立つようにスカートは4段のフリルとトレーンを曳き、パニエを付けて裾が大きく広がりボリュームのあるドレスに設定した。さらに、スカートには金色のレースを付けて高級娼婦の雰囲気や豪華さを出し、身頃の胸元にもフリルを付けてスカートとの調和をもたせた。



図1 ヴィオレッタの衣装デザイン

②材料

ドレスの表生地は、アイボリー色のサテン(ポリエステル100%)9mを使用し、フリルに重ねたレースは図2に示すような金色のチュールレース(ポリエステル100%)を20m用いた。衿元には、フリル、ブレード(金色)、ケミカルレース、3mm幅のリボン(モスグリーン)を各80cm使用した(図3)。パニエの材料は、ナイロンの土台スカートに30、50、70デニールのチュールを使用した。



図2 フリルに重ねたチュールレース

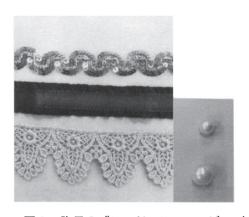


図3 胸元のブレード、レース、ビーズ

③デザイン・製図

図4はヴィオレッタの身頃の製図である。肩幅が3cmで胸元が大きく開いており、ノースリーブで、身頃はプリンセス切り替えによってフィットしている。

図5はスカートの前(F)、サイド(S)、後ろ

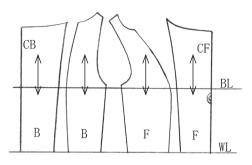


図4 ヴィオレッタの身頃の製図

(B) の製図である。トレーンの長さは約90 cm で幅が広くなり、布幅が110 cmなので裁断ができるように前後のスカートを 3 枚のパターンに分けた。

また、図5のフリルの位置に1/4スカートにおいて、第1フリルは2倍、第2フリル~第4フリルは0.5倍ずつ追加して上部にギャザーを入れた。

パニエは図5のスカートよりウエスト以外の幅 方向から約2割小さく、丈方向では裾から10 cm 短いものを土台スカートにし、図6の第1と第 2フリルは1/4スカートに対して30デニールの チュール幅90 cmを 2 倍~2.5倍のギャザーを入れ、第 3 は50デニールを 3 倍、第4は70デニールを 3.5倍入れた。

図6は第1フリル~第4フリルの製図である。

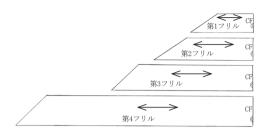


図6 スカートのフリル

④ヴィオレッタの完成した衣装

図7、図8のヴィオレッタの衣装は、他のドレスよりも最も裾の広がりが大きく、トレーンも曳いているので舞台での主役の存在感が明確に表現されていた。また、サテン地は照明があたるとより光沢が出て、フリルの影がはっきりと浮き出し、ボリュームのある金色のレースの4段のフリルは、豪華な高級娼婦の役柄を映し出していた。

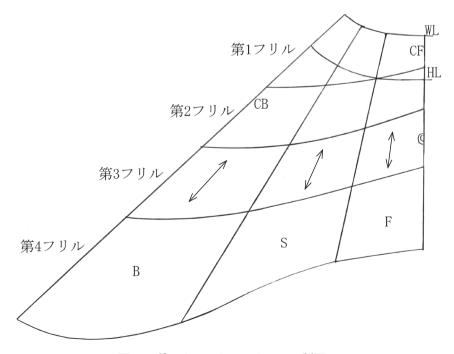


図5 ヴィオレッタのスカートの製図



図7 ヴィオレッタの衣装(前面)



図8 ヴィオレッタの衣装(側面)

(4) フローラの衣装

①デザインコンセプト

名前のフローラとは、「花」全体の意味をもつ。 ヴィオレッタの清楚なイメージとは重ならないよ うに、賑やかさや華やかさ、裏社交界の享楽を表 現するために、図9に示すようにフローラのデザ インは明るい暖色系のオレンジ色とし、シルエッ トはロングのベルラインにした。

すなわち、フローラは友人役なので主人公よりも目立ってはいけないが、女性合唱団の他の娼婦役よりも華やかにしなければならない。合唱団は自分でドレスを用意するため、市販のドレスではあまり見かけない色彩としてこの色に決定した。



図9 フローラの衣装のデザイン画

②材料

表生地はバックサテンシャンタン(ポリエステル100%)に、図10に示すような花柄の刺繍が施されたチュールレース(ポリエルテル100%)をドレス全体に重ね、使用量はそれぞれ5mであった。ウエストには、アクセントとして赤茶色のクリスタルベルベットのベルトを縫いつけた。胸元は、共布のレース地のフリルと図10のスパンコールの付いたブレードを縫い付けた。パニエは、ヴィオレッタと同じ材料を使用した。



図10 レース生地(左)とブレード(右)

③デザイン・製図

図11はフローラの身頃の製図である。ストラップ無しのベアトップのため、縦の切り替えラインには1cm幅のボーンを入れてフィットさせた。

ベルトは裏側に芯を張り、ウエストラインに合わせて縫い付けた。

図12はスカートの製図である。布幅が110 cm のため、前後のスカートを2つのパターンに分けて裁断した。ウエストには約2倍のギャザー量を入れてベルラインのシルエットを出した。

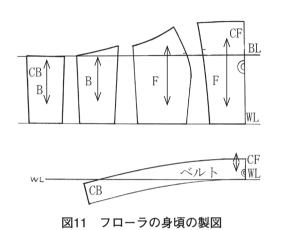
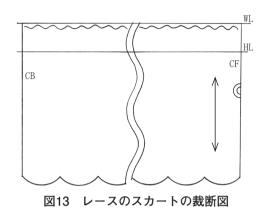


図13はレースのスカートの裁断図である。前後の中心(CFとCB)は、模様に沿って裁断し、柄合わせをして細かく巻き縫いをした。一般に刺繍入りのレース生地は、縫い目を少なくして直線的なデザインに用いた方がレースの模様を活かす

ことができる。スカートには約7倍のギャザー量 を入れてベルラインに膨らみを増加している。

パニエは、前述のヴィオレッタのものとほぼ同じたが、トレーンの部分を除いている。



④フローラの完成した衣装

図14、図15に示すようにオレンジ色の刺繍入り総レースのドレスは、一般に市販では見かけない個性的なデザインに仕上がった。フローラの役柄として華やかな裏社交界の享楽や主人公とは対照的な明るさを表現するために、やや短めにしたスカート丈で軽快に舞台を動きやすくし、他の合唱団のドレスより引き立つような裾の広がり、明るい雰囲気のオレンジ色にしたことなどが、ソリ

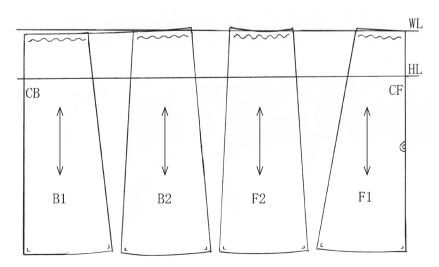


図12 スカートの製図

ストであるフローラに適した形態、色彩、材料で あったといえる。



図14 フローラの衣装(前面)



図15 フローラの衣装(後面)

(5) ヴィオレッタのヘッドドレス

一般にヘッドドレスは、ドレスのシルエットや 色彩、ヘアスタイルとのバランスが必要である。 また、主役やソリストの役割を明確に表現するた めに、形態、大きさ、華やかさの検討も必要である。

図16のヘッドドレスは、ドレスの色彩であるアイボリー色を基調にし、ボリュームのあるスカー

トの広がりとのバランスからボンネという小判型で横方向に広がる形を土台にした。この土台には大小の薔薇の花としてアイボリー、黄色、淡いオレンジ、黄緑などを組み合わせた。なお、薔薇の花は、花びらを切り取り、各色に染めて、中心に針金を付けて組み立て、花びらにラメペンで輝きを入れた。さらに茶色、ゴールドのパール、羽根、ドレスの共布なども合わせてドレスとの統一性をもたせた。



図16 ヴィオレッタのヘッドドレス

(6) フローラのヘッドドレス

図17のヘッドドレスは、ドレスのオレンジ色を 基調にし、縦方向に盛り上げたプラトーという形 にまとめた。材料は、オレンジ色とクリーム色の 薔薇、茶色とオレンジ色の羽根、ゴールのビーズ、 緑の葉、チュール、ドレスと共布のレース生地を 使用した。



図17 フローラのヘッドドレス

ヘッドドレスは顔に近い頭上の飾りものなので 大変目立つものであり、舞台ではそれぞれの役割 を表現するには効果的なものである。この舞台に おいてもフローラの役割と他の女性合唱団の役割 が明確に伝わったと思われる。

(7) オペラ公演

南大沢コミュニティオペラは、平成25年度文化 庁の劇場・音楽堂等活性化事業の一環として2014 年1月19日、南大沢文化会館主ホールで開催され た。図18は「椿姫」第1幕 乾杯の歌の場面で、 中央にヴィオレッタ、左側にフローラが登場して いる。他の女性合唱団のドレスの色とシルエット が重なることがなく、舞台はカラフルな衣装と歌 声が響いていた。



図18 「椿姫」第1幕の場面

4. まとめ

市民、学生、プロの音楽家とともに制作するオペラ「椿姫」の主人公ヴィオレッタとフローラの 衣装をデザイン・制作した。

- ①ヴィオレッタのシルエットと色彩は、歌劇団A、B、C、Dではスカートが大きく膨らんだベルラインシルエットでアイボリー色が多かった。フローラの衣装では、シルエットはベルラインまたはストレートであり、色彩は青、水色、紫、黄土色、シルバー、緑と様々であった。
- ②ヴィオレッタの衣装は、金色のレースを重ね たフリルが4段とトレーンを曳き、他のドレ スよりも最もボリュームのある大きい広がり

- のスカートにした。また、アイボリー色は純 真な高級娼婦の役柄を演出し、主人公の存在 感が明確に表現された。ヘッドドレスは、ボ ンネ型で横方向にアイボリー色を基調として 薔薇、羽根等を配置した。
- ③フローラの衣装は、主人公とは対照的に豪華で明るい雰囲気を暖色系のオレンジ色と素材のレース生地で華やかな裏社交界の享楽さを表現した。また、ロングスカートをやや短めにして軽快に歩きやすくし、女性合唱団のドレスよりも大きく広がったスカートでソリストとして引き立つようにした。ヘッドドレスは、プラトー型で縦方向にオレンジ色を基調として薔薇、羽根等を配置した。

本制作にあたり、ご協力およびご指導をいただいた法人公益財団八王子市学園都市文化ふれあい財団の皆様、さらに制作に励みました学生、加藤朋子さん、田尻祐季奈さん、新永有希さんに深謝申し上げる。

参考文献

- 1) デュマ・フィス 新庄嘉章訳:『椿姫』新潮 社 (2013)
- 2) 公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい 財団:
 - 『南大沢コミュニティオペラ ニューイヤー コンサート2014』 プログラム (2014)
- 3) 法人公益財団八王子市学園都市文化ふれあい 財団:『平成25年度事業計画』http://www. hachiojibunka.or.jp/info_dis/doc/25business_ plan.pdf 201311/16/ P.4
- 4) 文化庁:『劇場、音楽堂等の活性化に関する法律』 http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/houritsu/ 2012/06/21
- 5) 山田治生 他:『1冊でわかるオペラガイド』 成美堂出版(2008) P10~13
- 6) ヴェルディ:歌劇『椿姫』フェニーチェ歌劇 場DVD日本コロンビア株式会社(1992)
- 7) ヴェルディ:歌劇『椿姫』フェニーチェ歌劇 場DVD日本コロンビア株式会社 (2001)

- 8) ヴェルディ:歌劇『椿姫』フェニーチェ歌劇 場DVD日本コロンビア株式会社 (2004)
- 9) ヴェルディ:歌劇『椿姫』マドリッド王室劇 場DVD日本コロンビア株式会社 (2005)
- 10) ヴェルディ:歌劇『椿姫』ショルティ&コヴェント・ガーデン王立歌劇場DVD 日本コロンビア株 (1994)
- 11) ヴェルディ:歌劇『椿姫』ジュゼッペ・ヴェ

- ルディ劇場ブッセートDVD 日本コロンビ ア株式会 (2002)
- 12) ヴェルディ:歌劇『椿姫』藤原歌劇団 (2005)
 - 13) ヴェルディ:歌劇『椿姫』ハンガリー国立歌 劇プログラム (2013)
- 14) 文化服装学院編:『文化ファッション講座 デザイン』(1991) P.160~161

(受付 2014.3.26 受理 2014.5.28)